



さんじょう

八戸市立三条小学校
学校だより
令和2年3月2日
TEL 27-2216

【臨時号】

校長 河村 雅庸



左の写真は、2月27日に実施された「6年生を送る会」の入場の様子です。4月の「1年生を迎える会」では6年生に手を引かれ入場した1年生が、6年生の手を引いて入場です。1年生から5年生までの子供たちが、これまで学校の機関車としてがんばってきてくれた6年生に、感謝の気持ちを伝えようと工夫を凝らした送る会。心を込めて作ったプレゼントや出し物は、6年生にとっても喜んでもらうことができました。

6年生からは、お礼にジャンケン列車ゲームがあり、みんなで楽しむことができました。最後には、音楽集会で歌った「マイバラード」を全校で合唱し、心温まる素晴らしい会となりました。私からも全校のみんなへ感謝を伝えるとともに、「6年生と一緒に過ごせるのも残り3週間です。全校みんなで仲良く過ごして、思い出の多い1日1日にしていましょう」と結びました。



その数時間後の夕方、首相による驚愕の「全国一斉臨時休業要請」の報道に、職員室に激震が走りました。そして、このことを受け八戸市教育委員会では、市内全小中学校で、3月3日から26日まで臨時休業措置をとることを決定し、本校も、明日から臨時休業となります。先に書いた6年生を送る会を終え、全校が一体となってこれからまとめの3月に入ろうとした矢先のことで、また、学年末の大事なまとめの時期であり、困惑しました。何より、これまでに例のないことであり、学校もその対応に追われたここ数日でした。

およそ1か月の家庭生活を、子供たちにどのように過ごさせればよいのか、学校として限られた時間の中で、正直、大変悩みました。「こういうときこそ先生方の英知を結集し乗り越えよう」と、教職員全体で今後の対応について検討しました。その一つとして、長い期間にわたり、制限をされた生活の中で、子供たちの生活リズムを少しでも崩さないよう、各学年から家庭学習プログラムを配付しました。また、2週間後には出校日も計画するなどの対応も考えております。ただ、今後の状況の変化によっては、これらの対応も変わっていくことが考えられます。学校としても、状況をしっかり見極めながら進めて参りたいと考えております。大きな環境の変化の中、子供たちには想像できないストレスがたまることも考えられますので、保護者の皆様には、いつも以上に目をかけていただければと思います。

最後になりますが、保護者・地域の皆様には、今年度ここまでの本校教育活動に対する大変温かな御支援・御協力に感謝申し上げますとともに、通常の教育活動ができる日が、1日も早く戻ってくることを願いながら、臨時号発行とさせていただきます。教職員は、通常通り学校におりますので、明日からのことで何かあれば、いつでも御連絡・御相談くださればと思います。よろしくお願いいたします。